

仙台高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	総合英語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0036			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合科学系 (広瀬キャンパス一般科目)			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	4		
教科書/教材	「エンジニアのための総合英語」 村尾純子他編著 (三修社)						
担当教員	鎌田 紀子,田村 真一						
到達目標							
1. 1～3年生で学習してきた語彙・文法を定着させる。 2. TOEICの問題形式に慣れる。 3. TOEICのリスニングセクションにおいて200点以上(最高495点)取れるようになる。 4. TOEICのリーディングセクションにおいて200点以上(最高495点)取れるようになる。 5. e-learningを通して、英語の自主学習の習慣を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	科学技術英語を題材にし、あるトピックを中心にした英文を聞いたり、読んだりして、表現を学んだ上で、そのトピックに対する自分の意見を話したり、書いたりするタスクを行う。また、TOEICなどの試験対策を学習する。 既習の英語の文法・語彙・読解・聴解等の基礎的な運用力をさらに高め、原書を講読したり、TOEIC・実用英検・工業英検等の資格試験に対応したりできる総合的な英語力を養う。						
授業の進め方・方法	週2回4時間の授業のうち、2時間は教室で教科書を使って読解練習をする。TOEIC のリーディングパートを意識し、一定の速度を保って英文を読みこなす練習を中心に、リスニング問題を含む多様な設問に答えながら内容理解を深めていく。残りの2時間は語学演習室を使い、TOEIC(TOEIC Public IP) 受験対策用のe-learning 教材による自学自習を行う。						
注意点	週2回で読む分量が増えるため、教科書の読解部分に対しては辞書を引いたり下読みをしてくる等の予習が必須となる。また、教室外での音読練習を奨励する。 後期の総合英語IIでは、10月に受験するTOEIC のスコアを成績に加味する予定なので、演習室開放時間などを利用してTOEIC対策を進めておくこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション				
		2週	Chapter 1: Pendulum device to reduce swaying of skyscrapers during quakes		Figureの中での英語表現 (句, 複合名詞) を理解する。		
		3週	Chapter 2: Experiment lets man use his mind to control another person's movements		Flow chartの中での表現 (名詞句) を理解する。		
		4週	Chapter 3: Researchers create 'bionic ear'		Presentation slideの中で使われる構文について理解する。		
		5週	Chapter 4: Ultra minicars take to public roads		Tableの中で使用される表現 (句, 複合名詞) を理解する。		
		6週	Chapter 5: Japan, overseas firms battle over wearable tech business		Advertisementの中で使用されるインパクトのある表現について理解する。		
		7週	Chapter 6: New surgical knife can detect cancer instantly		Note-takingの中で使用される表現 (数字や固有名詞) について理解する。		
		8週	Chapter 7: Hakko Giken, university jointly develop luminescent gel		Emailの構成について理解する。		
	2ndQ	9週	Chapter 8: Deep secrets of maglev Shinkansen emerging		Instructionsの中で使用される表現 (命令文) を理解する。		
		10週	Chapter 9: A new palm vein ID system creates codes for multiple services		Process chartの中で使用される表現 (動詞で始まる文) について理解する。		
		11週	Chapter 10: ISO to adopt Japan-led safety criteria for nursing-care robots		News broadcastで使用される表現を理解する。		
		12週	Chapter 11: Nissan rolls out self-driving car at Japanese electronics show		Registrationの登録頻出表現を理解する。		
		13週	Chapter 12: Robots are getting closer to having humanlike abilities and senses		Demonstrationでの商品特徴紹介の仕方を理解する。		
		14週	Chapter 13: Nanotech scientist aspires to master 'a l chemy of gases'		Presentation slides of lecturesで使用される化学式と定義文について理解する。		
		15週	Chapter 14: Big battery eyed as green energy cure		Note-takingでよく使われる形式について理解する。		
		16週	定期試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。		3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		3	

				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前16
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合							
	試験	小テスト（15回）	夏季課題				合計
総合評価割合	80	10	10	0	0	0	100
基礎的能力	0	10	0	0	0	0	10
専門的能力	80	0	10	0	0	0	90
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0